



## 新春さわやがトーク

### 多田区長 北野大さん 未来への夢語る

**区長** あけましておめでとうござい  
ます。  
**北野** おめでとうございます。  
**区長** 北野さんは、大学教授を  
なされながら、国の審議会委員  
をはじめ、テレビ・ラジオ出演、  
執筆、講演など多方面でご活躍  
ですね。  
**北野** 大学では週5回の講義に、  
各種の会議もあり、その間にテレビの仕事など  
が入ったりして、忙しい毎日を過ごしています。  
**区長** なかなか大変なことですね。  
**北野** おかげで時間の使い方がうまくなりまし  
た。論文や本を書くにも、通勤時間などに考え  
をまとめておき、春休みや夏休みに資料を集め  
て、集中してやるようにしています。スローラ  
イフを送りたいと思っていますのですが、実際は  
思うようにならないですね。  
**区長** 専門は環境化学ということですが、どう  
いうことをなされているのですか。  
**北野** 化学物質である洗剤や農薬などが環境に  
出たとき、分解されてなくなるのか、それとも  
残っていくのか。残るとしたら魚などの生物に  
どのような影響を与えるのか、といったことを  
研究する手法を開発しています。今は、経済産  
業省の審議会委員をしていますので、提出され  
たデータを分析し、化学物質の生産や輸入を認  
めてよいかを決める安全性評価もしています。  
今までは使ってしまった後で害があると禁止し  
ていましたが、この安全性評価では、事前に有  
害かどうかを判断し、有害性があるものでも安  
全に使うていくにはどうすれば良いかというこ  
とを研究しています。  
**区長** 大学での研究をいかに行政に生かすか、  
まさにこれは実学ですね。産業界から非常に注  
目されている先端的な研究だと思えます。  
**北野** 環境学は、まだ完全に確立されていませ  
んが、多方面から期待されている学問です。  
(2面へつづく)



# 伝統的な心の豊かさを土台に 地域に新たな力を生み出す



江戸川区長 多田正見

## 母親の強い信念と 愛情がこぼる子育て

**区長** 北野さんの本をいくつか読ませていただきましたが、お母さんに感動しました。「貧乏は悪循環する。それを断ち切るには教育だ」「自慢、高慢、バカがする」など、いいお話がたくさんありました。すばらしい教育観を持っていらっしゃいますね。

**北野** おふくろは信念を持っていましたね。私の母親もそうでしたが、明治生まれの人は、人生の中でこれだけはわきまえていなければいけないという志をしっかり持っている方が多かったですね。

**北野** そうですね。信念が自信に裏付けられていたのが、迷いがなかったですね。関東大震災や東京大空襲など悲惨な体験を経てきたというところで、すぐ意気投合して集まる。これは、まさに下町の伝統的な心の豊かさですね。

**北野** 悲しみというのは、簡単に共有できるのですが、喜びというのは、簡単に共有しづらいものです。下町の人情はいいですね。

**区長** ものの本には、江戸時代の下町は温かい人情があったと書かれています。長屋の生活はまさに助け合いですから、そんな江戸時代のいいコミュニケーションが今も息づいているのでしょうか。

**北野** そういえば、下町のまつりはとても威勢がよく、粋ですね。これからもそういうものを残していくことが必要ですね。

(右からつづく)

え方がこれからは必要になってきますね。

**区長** そういう意味で、豊かさをどういうものに求めるか。それは心の問題になると思います。急激な経済成長が望めない今は、お金やものばかりでは解決できないこともあります。では、次なる力は何かというと、人々の知恵と協働だと思っています。

**北野** 長期計画で発表なさされた「共育」「協働」ですね。共に育む「共育」と区民とのパートナーシップとしての「協働」ですね。

**区長** そうですね。そこに新しい力を求めていくことが、これからの社会のあり方の基本となっていかなければならないと思います。

## 心の豊かさを求めていく 「共育」「協働」の場 総合人生大学・エコセンター

**区長** 北野さんに、将来、江戸川総合人生大学の学長になっていただきたいとお願ひしています。少いながらも役に立てばいいですね。

**北野** 区民のみならず、北野さんのお人柄をテレビなどで知っていて、すばらしい方だということを地域の中に生み出すような大学にしたい、という社会貢献ができるかみんなど学び合う場にしたいですね。

**北野** 生きがいとは人の役に立つことだと、私は思っています。みなさんが自分の経験・技術を人に伝えることによって、お互いに生きがいを生み出す、社会に貢献できる、昔は例えは、昔はおばあちゃん

一つは、学校に行って勉強して、いいところへ勤めるという投資的な教育で、貧乏から抜け出すための手段としてとらえていました。学生時代、私は、文学に傾倒してました。しかし、おふくろは、「手に職をつけろ。何が何でも技術だ」と言っていたので、大学は理工系の学部へ進みました。うちの親の世代にとって学問というのは、投資というイメージが強かったのでしょうか。

もう一つは、本にも書いていますが、人間としてりっぱな人間にならなくてはいけないという倫理的な教育であったと思います。最近、特に後者の方を大事だと感じています。

**区長** 奉仕とか、自己犠牲とか、人間のあり方、美しい生き方を教える教育ですね。

**北野** おふくろがすごかったのは、自分の子どもだけがやりっぱなしにしないということではなく、地域で子育てをするということを実践していたことです。狭い家なのですが、地域の子どもたちを集めて勉強させ、その子たちにも教育ママぶりを発揮していました。

**区長** 北野家を描いたテレビドラマを見させていただいて、弟の武さんが、自分は悪くないのに自分がやったと罪を被るシーンがありました。それが後で悪くないとわかって、お父さんが武さんの態度を誉めました。これは美学です。真実を言わないことは一見悪いことのようにですが、本当は非常に貴いことだという、人間の深いところにあるものを大事にする教育を、ご両親でされてこれた結果ですね。生活の中から得た経験を教えないければならない難しい教育です。

**北野** おふくろが私たち兄弟に教えたことのベースには、「自尊」という考え方がありま

■昨年10月に行われた第1回設立準備委員会



した。「自慢、高慢、バカがする」などの言葉はその表れで、「威張ることではなく、自らをみじかにしたい」ということを経験の中から教えたのだと思います。

**区長** それを基準にしてすべてに対処していく、そういうものを持つということがいかに大切かということですね。

**北野** 自尊の一つで、「やせがまん」ということをおふくろは言っていました。買い物をするときも、安ければいいというものではない。若干高くても隣近所との付き合いを大事にして、おふくろは地元のお店街をよく利用していました。私は、そんな考え方を今も大切にしています。

**区長** そんなお母さんの教育があって、北野さんりっぱな博士になられた、弟さんは世界の名監督になられた。ご兄弟それぞれの努力ももちろんあると思いますが。

**北野** 私が弟を評価するのは、たけし軍団という30人もの個性豊かな人たちを束ねていることですね。彼らが鉄の結束を誇っているのは、リーダーとしての弟の魅力がかなりあるからだと思っています。

弟が寝る暇もなくながらばって仕事をしているのを見て、「少し休んだら」と言うのですが、弟は「休んじやいけない」と言う。これはお金の問題ではなく、まさに自尊です。自分自身を常に高めなければという、おふくろから学んだ人間としてのあり方の教えを守っているのだと思っています。

**区長** ご兄弟で幼少のときから、いろいろな経験をされ、お互いにいい影響を合せていたのではないですか。弟さんもいいお兄さんが出て、良かったと思われているのでは…。

**北野** 私の好きな言葉に「念ずれば花ひらく」というのがあります。北野さんにも大変お好きだそうですね。

**北野** その言葉は、今の大学の教壇に立つ際に、知り合いから教えてもらいました。大学院を出るとき、大学に残りたかったのですが、事情がありそれがかなわなくて、それでもいつかは大学で若い人を相手に教育や研究をしたいと思っていました。信念を持って努力すれば、いつかは花がひらくものだなど改めて実感して、事あるごとに書いてい



知恵がそのまま家族の中に伝わっていましたが、今は核家族化していますから、なかなか難しい。そういうものを受け継いでいけるといいですね。

**区長** いろいろな分野があり、それぞれ自分という分野でということがいっていいと思います。一挙にとはいかなくても、だんだん拡充し、できるだけ豊富に学べる場になっていくといいですね。

**北野** 「小さく産んで大きく育てる」という言葉があります。時間をかけて継続していき、実りを大きくしていきますよ。

**区長** 学びの象徴として「大学」と付けていますが、学校教育法上の大学とは違います。北野さんは、本の中で「大学を出たからといってエリートだなどというは遠い過去のことです、これからは、大学を出ただけではあまり価値がない」と言っておられますね。

**北野** 男子の四年制大学進学率は40%を超え、女子の短大を含めた大学進学率は50%を超えています。かつての高校の延長みたいなようになっていきますね。

**区長** さらに、「大切なのは何を学び、社会でどう生かすかだ」と言っておられますが、これは大学だけのテーマではなく、社会に出るからでもそうです。

**北野** そうですね。学生にも、「職業に就くことだけでは足りないでしょう。社会のルールを学び、社会に貢献していくことが大切ですよ」と言っています。

**区長** 総合人生大学も、定年退職されて余暇のある方、女性であれば子育てが一段落した方などが、自分の時間と一番価値ある生かす方を勉強しようというところなのだと思います。これから、秋の開学を目指して、具体的な内容を詰めていっていただきたいと思っています。



きたの まさひと  
北野 大さん  
淑徳大学国際コミュニケーション学部教授。工学博士。専門は環境化学。国の審議会委員などの活躍をはじめ、テレビ・ラジオ出演、講演、執筆活動など多方面で活躍中。江戸川区では、平成2年に環境講演会講師、今年10月から江戸川総合人生大学設立準備委員会委員長。足立区在住。

# 生きがいとは人の役に立つこと みんなの知恵を地域のために

「共育」→あらゆる機会を通じて学び、教えあい、成長し、人格を高めること。「協働」→区民一人ひとりが江戸川区の将来に向けて志をひとつにし、大きな力を生み出していくこと。



## 心の垣根がなく温かい 下町の暮らし

**区長** 北野さんは下町で生活してこれられて、良かったなあと思うことはありますか。

**北野** 下町の一番いいところは、垣根のないところですね。物理的だけでなく、心の垣根がないことです。例えば、先ほどお話ししましたように子育ては地域のみならずのこととか、近所同士のお裾分けとかですね。うれしいのは、近所の親の世代の人たちから、未だに「まさるちゃん」と呼ばれていることです。まちの様子ほとんど変わらなくても、住んでいる人の心は昔と同じ。うれしいことですね。

**区長** 以前、報道関係の方から聞いたことですが、山の手の区にはすばらしい方が大勢住んでいて、時々話題には事欠かないが、江戸川区のような下町に来ると地域の方々の温

かを感じます。これは詩人の坂村真民さんのお母さんが念仏のように言っていた言葉だそうですね。北野さんのお母さんと同じで、坂村真民さんのお母さんも、子どもに対する愛情が深く、強い信念を持っていたようです。厳しいけど底の生活を克服していく姿、これが教育につながっていたのでしょうか。

**区長** 北野さんは、子育てに関して、どんな持論をお持ちですか。

**北野** 今お話ししたような強い信念を持ったおふくろが、いつもそばにいてくれて、私はとても幸せでした。子どもは母親がそばで見守りながら育ててあげてほしいと思っています。ただ、今は社会的に難しい状況などもありますが…。

**区長** そうですね。区では、今の時代に合わせて、たくさんの子どもたちを預かることのできるすくすくスクール事業など、多くの人たちとの関わりの中で、より安心して子育てができる環境を整えているところですよ。

**区長** これら今日の豊かな生活を求めていく「共育」「協働」の場にしたいと思っています。

**区長** それから、もう一つ、エコセンターがあります。様々な分野の中でも環境問題は、今日的には重要な位置を占めていますので、総合人生大学とは別にして集中的に取り組むことにしています。基本的な考え方は同じことですが、こちらは大妻女子大学の岡島成行教授に理事長をお願いし、4月に開設する予定です。

これら今日の豊かな生活を求めていく「共育」「協働」の場にしたいと思っています。

**区長** 地域行政に関わられるのは、初めてですか。

(4面へつづく)

北野 国や都・県はありますが、今回のようなまさに地域行政というものは初めてですね。

区長 区市町村というのはもともと地域に密着しているもので、私たちは日常的に大勢の方と直接お目にかかることができます。非常にありがたい立場にいると思つています。

北野 住民の気持ちがよくわかり、意見も吸収できるのではないですか。

区長 そうですね。地域のみなさんの心意気・地域愛・情熱を、日々身近に感じる事ができます。自分たちの手でよりよいまちをつくりたいとか、自分の子どもの教育のために学校を応援したいなどという気持ちですね。行政に対して、しっかりとやっつけてほしいというような、非常に心強い応援をいただいています。

北野 それはやりがいがありますねえ。

区長 厳しい課題はいろいろあります。でも、それは民間の方も同じことです。そんな民間の方々の中にも、意気軒昂に元気がつらつとやっている方がたくさんおられます。そういう方々の姿を見ると、我々ががんばらなくてはいけないと感じますね。

北野 私の持論として、これからの行政には、住民と一緒にという視点もとても大切だと思つています。例えば、公園をつくるにしても、従来は担当が設計して、最後にこういうものをつくりましょとお知らせするだけでしたが、これからは住民の活力を生かし、一緒に進めていくということが必要ですね。

区長 そうですね。江戸川区はすでにすべてそういう方式でやっています。その中に子どもたちも入ってもらっています。そうすると、子どもたちの意見もいろいろ出てきますよ。できた公園は、みなさんに愛着を持って利用していただいています。

北野 私は、本当に日本人はすばらしいと思つていますが、ヨーロッパ人と比べて一つだけいけないと思うことがあります。「自分のものは自分のもので、人のものは人のもの。では、公園や駅・学校などみんなのものだれのものか」と聞くと、たいはい日本人は、「これはみんなのものだから自分のものじゃない」という言い方をし

ます。ところが、ヨーロッパ人は、「これはみんなのものだから自分のものだ」と言いますね。こういう意識を持つことができれば、公共のものをもっと大事にしよう、育てていこうという気持ちが強くなるのではないのでしょうか。

区長 まちづくりや区画整理などもそうですが、みんなが参画し納得してやっていくことで、自分たちがつくったまちだということ意識が出てきます。自らの責任、あるいは愛着につながりますね。今もいろいろ案を投げかけながら、何回も意見交換をしているところなんです。

北野 時間はかかりますが、それはやむを得ないところですね。

区長 でも、みんなの意見は必ず集約されて、いいものになります。

北野 そうですね。大学の授業も、できるだけ学生を参加させて双方向にしたいと考えています。

### みんなの力を生かし 共に支え合う 「ボランティア立区」

区長 総合人生大学のその先に私たちが思い描いているものは、「ボランティア立区」です。つまり「江戸川区はこんなことをやっている」と言われたときに、「いや、これはボランティアなんですよ」と言える区にしたい。これは一つ二つの問題ではなくトータルで、「ええっ、すごいことをやっ



■みんなの公園をボランティアの力で（公園ボランティアのみなさん）

ていますね」と言われるようなものにしたのです。

北野 いいですね。そのボランティアも決められたことをやるということではなく、自分たちがつくり上げていくボランティアですね。

区長 そう、自発的なものです。

北野 ボランティアというと外国で定着した制度と言えるかもしれません。日本では、阪神淡路大震災あたりから注目されましたが、そもそも下町の生活というのは無意識のうちにボランティアをしていたようなものでした。もっと言えば、江戸時代の長屋もそうだったのではないのでしょうか。ただ、日本人は外国人と比べて、あまり自分がボランティアをしているということを吹聴しません。これは陰徳という仏教的な考えであり、話してしまうとその徳がなくなってしまうということから、あまり言わない風潮になっていくのです。もうちょっと素直に表現してもいい時代かもしれませんね。

区長 そうですね。今、区内にどんなボランティアがあるだろうと考えていくと、確かにいっぱいあります。例えば町会・自治会、これは完全なボランティアです。地域のために、役員の方々は本当に大変なご苦労をされています。さらに、消防団員・子ども会育成者・スポーツ団体指導者など、挙げればきりがありません。普段その方々をボランティアとは言っていないかもしれませんが、相対的な社会奉仕です。こういう既存のものは既存のもので、それを土台にして新たな分野の開拓をしなければなりません。

北野 そうですね。経験なり技術なりを生かせる土台というものを用意するのが行政の仕事ですね。私も総合人生大学に携わることで、その一端を担えればと思つています。

区長 福祉や教育・国際交流など、いろいろな意味でまだ新しい分野が残っています。区民のみなさんが気軽に知恵や経験を生かしていただける仕組みをつくりながら、未来への希望あふれる「共育」「協働」の区民文化づくりを推進していきたいと思つています。

本日はすばらしいお話をありがとうございました。



## 休日急病当番医

●診療時間⇒9時～17時（急病のみ受け付け。往診は不可）。  
●外科は救急指定病院（「平成14・15年度くらしの便利帳」126ページ参照）をご利用ください。  
●当番医（変更になる場合もあります）、救急指定病院の案内は下記のところで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。  
・テレホンセンター☎(3651)5270  
FAX(3654)4902 } =9時～17時  
・東京消防庁テレホンサービス☎(3212)2323=24時間  
・東京都保健医療情報センター☎(5272)0303  
FAX(5285)8080 } =24時間

- |      |           |               |             |             |
|------|-----------|---------------|-------------|-------------|
| 1月2日 | 小         | かみほろクリニック     | 松江2-1-19    | ☎(5661)2121 |
| 1月3日 | 内・小児科     | 田島クリニック       | 西葛西6-13-7   | ☎(3687)1161 |
|      |           | 藤山医院          | 西小岩3-5-3    | ☎(3658)3782 |
|      |           | 栗原医院          | 上一色1-7-11   | ☎(3674)1184 |
|      |           | 塚本医院          | 東小岩5-32-10  | ☎(3657)0864 |
|      |           | 小倉内科クリニック     | 平井7-27-9    | ☎(3611)5265 |
| 内    | わかばクリニック  | 船堀4-6-6-202   | ☎(5667)6755 |             |
|      | 渡辺内科クリニック | 篠崎町7-3-1      | ☎(5243)1871 |             |
|      | 協愛医院      | 西小岩3-36-11    | ☎(3657)5651 |             |
| 眼    | 協愛医院      | 西小岩3-36-11    | ☎(3657)5651 |             |
| 耳鼻   | 一さの耳鼻科    | 東葛西6-1-17-302 | ☎(5675)6155 |             |

## 1月3日

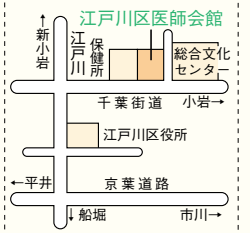
- |       |             |            |             |
|-------|-------------|------------|-------------|
| 内・小児科 | 桂医院         | 平井1-17-4   | ☎(3682)3035 |
|       | 広見医院        | 中央2-28-18  | ☎(3651)5376 |
|       | 宮澤クリニック     | 西葛西6-18-3  | ☎(3878)0826 |
|       | 南小岩クリニック    | 南小岩7-5-18  | ☎(3657)2982 |
|       | 佐藤医院        | 東小岩5-20-12 | ☎(3657)1414 |
| 内     | 申孝園診療所      | 一之江6-19-18 | ☎(3652)9860 |
|       | 北小岩胃腸科クリニック | 北小岩4-8-3   | ☎(3672)2865 |
|       | 恵仁診療所       | 南篠崎町1-27-9 | ☎(3679)5281 |
| 眼     | 協愛医院        | 西小岩3-36-11 | ☎(3657)5651 |
|       | 船耳耳鼻科       | 本一色3-1-9   | ☎(3655)3387 |

## 1月4日

- |       |             |            |             |
|-------|-------------|------------|-------------|
| 小     | いなげ小児科クリニック | 平井5-24-10  | ☎(3613)7667 |
|       | 山本小児科クリニック  | 中葛西3-11-20 | ☎(3688)8600 |
| 内・小児科 | 第二鈴木クリニック   | 松江4-31-15  | ☎(3654)6604 |
|       | 藤山医院        | 西小岩3-28-14 | ☎(3672)9333 |
|       | 小岩医院        | 興宮町16-13   | ☎(3653)5347 |
|       | 那波医院        | 東小岩6-21-5  | ☎(3657)1378 |
|       | 同愛会病院       | 篠崎町1-145   | ☎(3679)3296 |
| 内     | 同愛会病院       | 松島1-42-21  | ☎(3654)3311 |
|       | 協愛医院        | 西小岩3-36-11 | ☎(3657)5651 |
| 眼     | 協愛医院        | 西小岩3-36-11 | ☎(3657)5651 |
| 耳鼻    | 浅井耳鼻咽喉科医院   | 東瑞江1-27-5  | ☎(3698)8741 |

## 年末年始 休日急病診療所開設

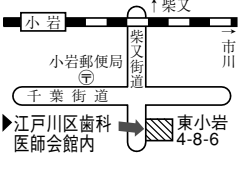
小児科を中心とした診療を行います。  
期間 1月4日(日)まで  
時間 9時～17時  
診療科目 小児科・内科  
会場・問い合わせ 江戸川区医師会館 ☎(3655)5151  
=開設時間内のみ



夜間・深夜 急病診療  
時間 21時～翌朝6時  
診療科目 内科・小児科  
会場・問い合わせ 江戸川区医師会館☎(3651)5270

## 休日歯科応急診療

1月2・3・4日  
●診療時間⇒9時～17時（受付時間は、16時30分まで）  
●事前に休日専用電話（3672）8215で申し込みの後、受診してください。



## 休日応急当番接(整)骨院

- |              |      |        |           |             |
|--------------|------|--------|-----------|-------------|
| ●施術時間⇒9時～17時 | 1月2日 | 福岡整骨院  | 船堀1-4-10  | ☎(3686)0227 |
|              | 2日   | 加納接骨院  | 東小岩3-21-2 | ☎(3658)7890 |
|              | 1月3日 | 田村接骨院  | 船堀7-16-16 | ☎(3687)0864 |
|              | 3日   | 名倉接骨院  | 東松本2-6-5  | ☎(3650)6204 |
|              | 1月4日 | 飯塚接骨院  | 中葛西3-18-5 | ☎(3688)3935 |
|              | 4日   | おかべ整骨院 | 鹿骨4-5-3   | ☎(5243)9977 |

## 医療相談 腰痛症

日時 1月21日(水)13時30分～15時  
定員 6人（先着順）  
申込先・会場 1月6日(火)9時から電話で、江戸川区医師会☎(3652)3166